

エマオ活動日誌



エマオでは農業再開のお手伝い、高齢世帯での家事や庭仕事などのお手伝いを中心に活動をさせて頂いております。

火曜・水曜日は仮設住宅を中心に、木曜・金曜・土曜日は笹屋敷・石場を中心に活動しています。

7月から毎年来てくれている台湾のグループが来ます。それ以外にも高校生や大学生が今年も町内で活動します。些細なことでもご要望がございましたらスタッフに声を掛けて下さい。

9月のワーク報告

- ・ワーカー合計人数…479人
- ・ワーク内容…家屋・屋敷内の作業(28件)
農作業(45件) 訪問(22件)
イベント(9件)

9月は通常のワーク以外に豪雨水害の被災地ワークとして茨城県常総市、黒川郡大和町、大崎市にもワークに行きました。

町内会との定例会報告

9月9日(水)に町内会公会堂にて定例会を持ちました。8月度のワーク報告、ささっこクラブ報告、夏のワークについて話し合いました。次回は10月7日(水)18時30分から予定しております。

告知

10月24日(土)にきっす広場で14:00から「ささっこクラブ」で焼いも大会をします！お時間が許す方はぜひ参加していただきたいと思います。

※雨天の場合は場所・時間の変更がございます。

(ささっこクラブに参加予定のご家庭は、10時に町内会館にお昼ご飯持参で集まってください！)

大事なお知らせ

遅い夏休みをいただきます。

(10月13日～17日まで)

夏のワーカーが多い期間が終わり、笹屋敷・石場の田んぼも稲刈りが一段落したところで、現場スタッフの充電期間として少し遅い夏休みを頂きます。ご理解の程よろしくお願い致します。

関東・東北豪雨被災地ボランティア報告

さる9月10日から東日本を襲った大雨によって茨城県常総市では鬼怒川の堤防が決壊し大きな被害をもたらしました。宮城県でも黒川郡大和町、大崎市、栗原市鶯沢などで床上浸水するなどの被害がありました。

「今は水害で困っている人のところへ行ってくれ」「本当だったら自分が行きたいが、体力的に行けない。代わりに行ってくれ」といった町内の方々の言葉に背中を押されて、エマオでは急遽常総市、大和町、大崎市、栗原市にスタッフ、ワーカーで赴き、水に浸かった家具の運びだし、床下の泥かき、床板剥がしなどのワークを行って来ました。

私が行った常総市の光景はちょうど4年6か月前の笹屋敷・石場の風景と重なり胸の痛むものでした。

ほんの数軒のお宅の泥かきしかできませんでしたが、「仙台から来てくれた人達」は常総市の人たちにとって心強い経験を持ったボランティアに思えたそうです。

町内の皆さまの思いの一端でも今回の被災をなされた方々に伝えることが出来たら幸いです。

スタッフ ちば



ボランティア依頼申込み用紙

受付日： 年 月 日

差し支えない範囲で下記の欄にご依頼内容とご連絡先のご記入をお願いいたします。菅原町内会長へご連絡いただきましても、ご依頼をお受けさせていただきます。もちろんこれまで通り、口頭でのご依頼もお受けしています。

ふりがな	
氏 名	
住 所	〒
連絡先	
ご希望の日時	
ご希望の連絡方法 (○をお付けください)	いくつでもお選びください どれでもよい・自宅電話・携帯電話・FAX・メール・郵送・ その他()
ご依頼内容 場所や必要人数など	
備 考	

《注意》 ワークの場ではアルコール・人を不快にさせる性的な言動は一切禁止です。

何卒ご理解の程よろしおねがいたします。

※個人の情報はご連絡のためにのみ使用します。また、ご本人の承諾がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

お問い合わせ：日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 電話：022-265-0173 FAX：022-265-0174